



受付第05A0912号
受付日：平成17年 6月27日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成17年10月 3日

財団法人 建築材料試験センター
中央試験所長 勝 野 中 幸
埼玉県草加市稲荷 0号



| | |
|----------------------|---|
| 試験名称 | 床合板を介した筋かい入り木造軸組耐力壁（片筋かい）の面内せん断試験 |
| 依頼者 | 会社名：株式会社 タナカ住宅資材事業部 所在地：茨城県新治郡新治村大畑702番1号 |
| 試験体 (依頼者 提出資料) | 1. 接合金物 名称：木造建築用筋かい金物 商品名：2倍筋かいプレイン 用途：筋かい（45mm以上×90mm以上の木材）端部と軸組との止め付け部に使用する金物 寸法：280×95mm，厚さ1.2mm（図-3参照） 材質：Zn-11%Al-3%Mg-0.2%Siめっき鋼板スーパーダイマ（NSDCC K18） 2. 接合具 木ねじ：TB-45，柱側及び横架材側5本，筋かい側7本使用 長さ；44.8mm，ねじ部の長さ；40.65mm，ねじ部の外径；5.1mm 谷の径；3.3mm，ねじ山のピッチ；3.18mm，ねじ先の形状；とがり先 材質；SWCH 18A（JIS G 3539） 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C（JIS H 8610及びJIS H 8625） 3. 使用軸組等（耐力壁の長さ0.91m，高さ2.73m） 梁：べいまつ，105×180mm，土台及び柱：すぎ，105×105mm，間柱：すぎ，30×105mm 筋かい：Hem-Fir (N)，45×90mm，床合板：構造用合板（JAS 1類2級），厚さ28mm 4. 試験体数 3体 参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法） |
| 試験方法 | 木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法及び評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。 |
| 試験結果 | 1mあたりの基準せん断耐力：4.2kN，終局変形角 γ_u の平均値：1/16rad 耐力算定基礎資料等：表-2～表-4 荷重-せん断変位包絡線の比較：図-4 荷重-せん断変位包絡線，変形角曲線及び変位曲線等：図-5～図-11 破壊状況：写真-1～写真-4 |
| 備考 | 当該試験結果から，厚さ28mmの床合板を介した筋かい入り木造軸組耐力壁は，木造軸組工法住宅の許容応力度設計の2章の2.1「筋かい端部の仕口」による1mあたりの基準せん断耐力は2.94kN以上（筋かい断面45×90mm），かつ，終局変形角 γ_u は1/30rad以上であることが明らかとなったため， 平成12年告示第1460号の一の二に定める接合方法の性能を満足する。 |
| 試験期間 | 平成17年 8月19日 |
| 担当者 | 構造グループ 試験監督者 橋 本 敏 男 試験責任者 高 橋 啓 仁 試験実施者 室 星 啓 和 |
| 試験場所 | 中央試験所 |